

コード	名 称		区分	コード	名 称	
事業名	516	道路維持経費	会計	01	一般会計	
			款	08	土木費	
			項	02	道路橋りょう費	
基本 施策	50	市内道路網を機能的に強化する	目	02	道路維持費	
			細目	341	道路維持経費	
行革大綱の重点事項番号			細々目	01	道路維持経費	
担当部課	コード	190500	担当者 氏名	山本 昇	連絡先	43 - 2323
	名称	建設1課				(内線) 236

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市道を利用する人	※対象件数
成果(どうする)	市道の維持管理等を適正に行うことにより安全に安心して通行できる。	
根拠法令・要綱等	道路法、道路構造令、アスファルト舗装要綱	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	市道を利用する人が、安全で快適に利用できるよう、道路維持修繕工事及び維持工事を実施する。 ○道路修繕 314件 ○委託業務 ・融雪剤散布等委託 22件 ・道路維持管理委託 66件 ・草刈業務委託 43件 ○維持修繕工事 ・舗装補修 27件 ・側溝・横断管等補修 21件 ・路測・路肩補修 6件 ・その他 7件 ○道路維持資材購入(コンクリート二次製品・生コンクリート・切込砕石・常温合剤材・その他)	
社会情勢 の変化等	幹線道路等の通行車両の大型化や増加により舗装の補修箇所が増加している。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	170,651 千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
道路修繕		件	目標	339	目標	314
			実績	339	実績	314
道路維持補修工事		件	目標	66	目標	61
			実績	66	実績	61

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
道路修繕箇所数		住民要望に基づく修繕箇所数により満足度を量る	箇所数	目標	339	目標	314
				実績	339	実績	314
道路維持工事箇所数		住民要望に基づく維持工事箇所数により満足度を量る	箇所数	目標	66	目標	61
				実績	66	実績	61

投入 コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	184,294	170,651	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000	
A の 財 源 内 訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0	0	0	0	0	
一般財源	184,294	170,651	170,000	170,000	170,000	170,000		
事業投入人件費 (B)	2.0 人 14,400	2.0 人 14,400	2.0 人 14,400	2.0 人 14,400	2.0 人 14,400	2.0 人 14,400		
フルコスト(A)+(B)	198,694	185,051	184,400	184,400	184,400	184,400		

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	○
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		生活道路の維持修繕工事を行い、安全・安心な生活環境を提供する。
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
効率性	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 臨時地方道整備事業	○
	受益者負担を求めることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	道路パトロールを強化し、生活道路及び緊急性を優先し必要最小限の補修に努める。
昨年度の 取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる
	【詳細】 危険箇所の早期発見に努め、維持補修費の軽減を図るようにした。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	北山 太加視
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 市道を利用する人が、安全で快適に利用できるよう、引き続き道路修繕工事及び維持工事を実施していく。
現時点における 課題、その他	市道の自治会等への除草委託については、高齢化により地元での引き受けが減ってきている状況であるが、引き続き地区にお願いをして維持経費の削減を図る。
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	地区要望ヶ所に優先順位をつけ、計画的に維持補修を行うことで、道路機能の保全と効果的な予算執行を図る。